

科目名	GCB II						
科目名(英)	Global Citizen Basic II						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者			
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年						
授業概要	GCB I での考え踏まえ、さらに「社会とのつながりの中で自分自身の生きる姿勢」、すなわち“志”について考える。夢を実現するためには「行動する力」が必要となるが、そのためには具体的に言語化してビジョンにし、そのビジョンに強い信念が伴い、自分以外の人や社会・公のことが視野に入ると“志”に近づくという事を学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
				○		自ら考える、気づく。積極的に参加(話し合い、発表)する。日常生活で実践する。	
テキスト・教材 参考図書	・グローバルシティズンベーシックII 志の教育(学生用テキスト)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	グローバルシティズンと“志”			振り返りレポートの作成		
	2	自分を取り巻く環境を知る ～世界の中の日本・日本の中の私～			振り返りレポートの作成		
	3	自己を知る			振り返りレポートの作成		
	4	伝える力を学ぶ I ～プレゼンテーション～			振り返りレポートの作成		
	5	伝える力を学ぶ II ～グループコミュニケーション～			振り返りレポートの作成		
	6	先人の志に学ぶ～プロフェッショナルとは～			振り返りレポートの作成		
	7	成功者の考え方に学ぶ～まとめにむけて～			振り返りレポートの作成		
	8	自らの志を言語化する(知行合一の考え方に基づく)			振り返りレポートの作成		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)レポートを8回実施する (2)最後の授業で発表する。 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート作成・発表				◎		100%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、不合格となる。						

科目名	セールスプレゼンテーション						
科目名(英)	PowerPoint						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	浦川 実子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年						
授業概要	ビジネスの現場で必要とされる、プレゼン能力の向上を図ることを目的として実施する。PPの効果的な使用方法を学び、目的に応じたプレゼンテーションの資料を組み立て、作成できることを目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
			○			PowerPointの基本操作ができる(入力・表・グラフ・図解・イラスト)	
	○	○				目的に応じたプレゼン用資料を作成する	
テキスト・教材 参考図書	・PowerPointマスター演習問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	PowerPoint基本操作(テキスト・表・グラフ)					
	2	PowerPoint基本操作(図解・イラスト)					
	3	PowerPoint基本操作(目的にあわせた図解の作成)				基本操作確認課題作成	
	4	プレゼン資料作成基礎①					
	5	プレゼン資料作成基礎②				プレゼン資料課題作成	
	6	プレゼン資料作成応用①					
	7	プレゼン資料作成応用②				プレゼン資料課題作成	
	8	プレゼン最終課題作成					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)基本操作確認課題提出 (2)プレゼン資料課題①提出 (3)プレゼン資料課題②提出						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	基本操作課題提出			◎			50%
	プレゼン資料課題①提出		○	◎			20%
	プレゼン資料課題②提出		○	◎			30%
履修上の注意	課題提出は、切厳守。遅れての提出は日数に応じて減点とする。						

科目名	ソムリエ						
科目名(英)	Sommelier						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	小田原崇		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年						
授業概要	ホテルのレストランやバー等におけるソムリエの業務を学び、その基礎となるワインについての幅広い知識の習得を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					ワインの基礎的な知識を習得する。	
		○				適切なワインサービスができる。	
	○					ワインを通して各国の文化を学ぶ。	
	○					レストランにおけるマナーを習得する。	
○					料理やワインの知識をもとにゲストへの様々な提案ができる。		
テキスト・教材 参考図書	一般社団法人日本ソムリエ協会教本						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	アルコール類とワインの歴史					
	2	ワインの分類、栽培方法、醸造学					
	3	スパークリングワインの製法、試飲					
	4	テイasting方法、ワインの表現					
	5	白ワインの製法、試飲					
	6	赤ワインの製法、試飲					
	7	貴腐ワインと酒精強化ワインの概要					
	8	貴腐ワインと酒精強化ワインの試飲					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	レポートを実施し、成績評価基準はS(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート		◎	○	◎		100%
履修上の注意	ワインの試飲を行う日は徒歩または公共交通機関利用で登校すること。						

科目名	ホテルマネジメントA						
科目名(英)	Hotel Management						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	郡 嶋 奨		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	ホテルにてフロント業務 として勤務		
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年						
授業概要	ホテルビジネス実務検定ベーシック2級合格を目指す。検定の学習を通して、現場での実践に活かせる業務に関するより詳しい知識を身につける。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					国内外のホテルの歴史を説明できるようになる。	
		○				ホテルの種類をマーケットや特性によって分類し、区別できる。	
		○				ホテルで使う英語表現を学び、各部署での必要なフレーズを上げることができる。	
		○				宿泊部門の主要実務について学び、より詳しい内容で出題される検定問題に应用する。	
	○				料飲部門の主要実務について学び、より詳しい内容で出題される検定問題に应用する。		
テキスト・教材 参考図書	ホテルビジネス、プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	授業内容説明、評価方法、検定について / 世界の観光産業			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	日本の観光産業			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	ホテルの定義とホテル産業の分類、ホテルの組織			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	国際的な慣習、ホスピタリティ			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	ホテル英語①			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	宿泊部門の概要、宿泊約款と利用規則(施設、設備)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	宿泊部門の業務①(ドアマン、ベルスタッフ、フロント、リザーベーション、コンシェルジュ、ハウスキーピング)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	宿泊部門の業務②(ドアマン、ベルスタッフ、フロント、リザーベーション、コンシェルジュ、ハウスキーピング)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9	料飲部門の概要、料飲施設、設備、備品に関する知識			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	10	食材、飲材の基礎知識			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	11	洋食、メニューの基礎知識			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	12	サービス方法、和食のサービス			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	13	中国料理のサービス			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	14	ホテル英語②			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
15	宿泊部門、料飲部門のまとめ						
評価方法	(1)授業の中で小テストを数回実施する。(2)レポートを数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テスト	◎	◎				45%
	レポート	○	◎		◎		5%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名 Subject Name	English Conversation						
科目名(英) Same as Above	English Conversation						
単位数 Credits	2	時間数 Hours	30	担当者 Instructor	Mark Wisniewski, Michael Coupe		
実施年度 Year	2	実施時期 Semester	1	実務家教員 担当科目 Instructor with Career in Subject Area	○		
対象学科・学年 Class	Hotel 2						
授業概要 Subject Description	1. Raise students' English proficiency 2. Give students more confidence in using English 3. Workplace related English skills						
授業形式 Class Format	講義: Lecture	△	演習: Practice	○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標) Specific Targets in Focus	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標 Targets	
	○					Raise students' English proficiency	
		○				Give students more confidence in using English	
	○					Workplace related English skills	
テキスト・教材 参考図書 Textbooks and References	Speakout Elementary Book 2						
授業計画 Class Schedules and Contents	回数	授業項目・内容 Topics and Contents				授業外学修指示 Preparation and Review	
	1	Get to know your teacher				none	
	2	7.1 Travel Partners				Preview lesson materials and review previous lesson	
	3	7.2 The Longest Bike Ride				Preview lesson materials and review previous lesson	
	4	7.3 Can you tell me the way?				Preview lesson materials and review previous lesson	
	5	7.4 Hong Kong (needs TV/DVD)				Preview lesson materials and review previous lesson	
	6	7.5 Lookback / Teacher's lesson				Preview lesson materials and review previous lesson	
	7	8.1 Having a great time				Preview lesson materials and review previous lesson	
	8	8.2 What a difference				Preview lesson materials and review previous lesson	
	9	8.3 What do you recommend?				Preview lesson materials and review previous lesson	
	10	8.4 Changing Trends (needs TV/DVD)				Preview lesson materials and review previous lesson	
	11	8.5 Lookback / Teacher's lesson				Preview lesson materials and review previous lesson	
	12	9.1 City Bikes				Preview lesson materials and review previous lesson	
	13	9.2 Free Ride				Preview lesson materials and review previous lesson	
	14	Speaking Test Practice				Preview lesson materials and review previous lesson	
	15	Speaking Test				Review previous lesson material	
評価方法 Assessment Method	Students evaluation: (1) Test – 50% (2) Class participation – 25% (3) Attendance – 25 % The scoring scheme is: S (90 and above); A (80~89); B (70~79); C (60~69); D (59 and below)						
		言語情報 Language Info.	知的技能 Intellectual Skills	運動技能 Physical Skills	態度・意欲 Attitude/Ea gerness	その他 Other	評価割合 Percentage of Assessment
	定期試験 Semester End Exam	○	○		○		50%
	小テスト In-class Tasks	○	○		○		50%
	宿題・レポート Assignment/Report						
	発表・作品 Presentation/Works						
履修上の注意 Remarks	Students will not receive a grade if they miss more than 5 classes.						

科目名	ホテル中国語						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	陳金陵		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年						
授業概要	中国語の基礎的な単語や文法を学習するとともに、ホテル現場での接客に使うフレーズを身につける。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					単語や常用表現フレーズを使い、自己紹介ができるようになる。	
		○				簡単な文法を使ってホテルに必要なフレーズが言えるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	おもてなし外国語会話						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	中国はどんな国、中国語の仕組み					
	2	母音			発音の練習		
	3	鼻音と挨拶言葉			発音の練習		
	4	声調と鼻音の復習			発音の練習		
	5	子音半分と母音の組み合わせ			発音の練習		
	6	子音半分と母音の組み合わせ			発音の練習		
	7	発音の総復習とテスト			発音の練習		
	8	数字、年齢、各自の名前の言い方			名前などを正確に言えるように		
	9	日付けの言い方			しっかり覚えよう		
	10	お金の言い方			しっかり覚えよう		
	11	電話、携帯番号と部屋番号			しっかり覚えよう		
	12	自己紹介用の単語			しっかり覚えよう		
	13	自己紹介文作り			作文		
	14	発表とホテル用語			習った言葉を会話の練習		
15	二人組でホテル用語を使い会話の演習(テスト)						
評価方法	(1)授業の中で作文(自己紹介文)を作成する。(2)最終授業でホテル会話テストを実施する。(3)授業態度を加味する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		ホテル会話テスト	○				80%
		自己紹介文・授業態度	○		○		20%
履修上の注意							

科目名	一般教養Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	合力 朱実		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年						
授業概要	ホテル業界における就職試験問題に対応できる実力を養成する。国語・数学・英語・社会における一般常識力とSPI問題の解法を理解し、実際の採用試験に解答できる能力の修得を目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					漢字検定2級程度の漢字までは読み書きが出来る	
	○					計算問題を中心に正確に解答することが出来る	
	○					英検準2級程度の問題に解答することが出来る	
	○					歴史に沿って時代の流れを理解し、歴史上の出来事について概要を説明することが出来る	
○					数学の文章問題、四則演算を限られた時間の中で解答することが出来る		
テキスト・教材 参考図書	就職試験これだけ覚える適正検査スピード解法 オリジナルテキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	科目概要説明、第5回実力テスト					
	2	第1回:世界史、英語、SPI:玉手箱・分割払い				第1回:国語(1, 2) テキストの該当部分復習しておくこと	
	3	第1回:数学、第2回:社会、SPI:分割払い、料金の割引				第2回:国語(1, 2) テキストの該当部分復習しておくこと	
	4	第2回:英語、数学、SPI:割引料金と精算、仕事算				テキストの該当部分復習しておくこと	
	5	第3回:社会、SPI:割合、損益算				第3回:国語(1, 2) テキストの該当部分復習しておくこと	
	6	第3回:数学、英語、SPI:損益算、速度算				第4回:国語(1, 2) テキストの該当部分復習しておくこと	
	7	第4回:数学、社会、英語、SPI:速度算、集合				第5回:国語(1, 2) テキストの該当部分復習しておくこと	
	8	第5回:数学、英語、社会				第6回:国語(1) テキストの該当部分復習しておくこと	
	9	第6回:社会、英語、SPI:集合、推論				第7回:国語(1, 2, 3) テキストの該当部分復習しておくこと	
	10	第7回:社会、英語、数学、SPI:推論				第8回:国語(1, 2, 4) テキストの該当部分復習しておくこと	
	11	第8回:社会、英語、数学、SPI:推論、四則演算				第9回:国語(1, 2) テキストの該当部分復習しておくこと	
	12	第9回:英語、数学、社会、SPI:四則演算、割合				第10回:国語(1) テキストの該当部分復習しておくこと	
	13	第10回:数学、社会、英語				テキストの該当部分復習しておくこと	
	14	第10回:英語、SPI:売買分割、推理、順列・組み合わせ				テキストの該当部分復習しておくこと	
15	まとめ:前期試験範囲振り返りと対策				テキストの該当部分復習しておくこと		
評価方法	(1)定期試験 (2)小テストや宿題 (3)授業中の態度 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○		○		80%
	小テスト	◎	○		○		10%
	宿題	○	○		◎		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	観光概論								
科目名(英)									
単位数	1単位	時間数	15コマ	担当者	八尋 隆志				
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目					
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年								
授業概要	2020年(訪日外国人3000万人)東京オリンピックに向けて日本政府は急激に外国人旅行者(インバウンド)に力を入れている。今回このインバウンドツーリズムについて、なぜ外国人旅行者を政府は誘致するのか外国人旅行者が日本に来る事によって日本経済はどのように変わっていくのか、どのような国々の方が日本を訪問するのか、何を求めて来るのかなど、幅広く講義する。								
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標			
	◎					訪日外国人の来日による日本経済の変化を、しっかりした定義に基づき説明できる。			
		◎				訪日外国人が日本に何を求めて観光に来て居るのか、実際のツアーを検証して日本のプラス・マイナス面を説明できる。			
テキスト・教材 参考図書	観光ビジネス実践ワークブック(地域インバウンド) 横浜商科大学:編集 JATA資料及び業界誌								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	インバウンドとは(国内旅行・海外旅行の相違点)				新聞や外国人向け日本のパンフレットを見ておいてください。			
	2	外国人から見た日本の魅力(プラス・マイナス面)							
	3	実際の訪日外国人の行動							
	4	訪日外国人の日本への入国査証(VISA)							
	5	訪日外国人の国別の習慣や食事について							
	6	訪日外国人のホテル利用について及び確認テスト							
	7	業界の専門用語の習得							
	8	業界の専門用語及び確認テスト							
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
評価方法	本試験及び授業中の確認テスト実施及び授業態度								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	確認テスト・授業態度	◎	◎		○		50%		
	期末試験	◎	◎				50%		
履修上の注意									

科目名	実用英語ⅡA					
科目名(英)						
単位数	4 単位	時間数	60時間	担当者	秋本 佐代子	
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年					
授業概要	TOEIC350～400に必要な英語の基礎を学ぶ。基本的な文法の知識の確認を行うと共に、比較的簡単な長文の読解を目指す。音読練習も加えたリスニング練習を反復的に行うことで、資格試験のみならず、日常会話に必要な力も伸ばしていく。					
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					下記に記した文法事項について説明ができる。
	○					簡単な長文を読んで概要を掴むことができる。
	○					比較的短い対話文やアナウンスを聞いて概要を掴むことができる。
	○					比較的簡単なビジネス向けの単語を理解することができる。
	○					2つの英文書の関係性を説明することができる。
テキスト・教材 参考図書	新TOEICメガ模試、TOEIC TEST新形式精選模試リーディング・リスニング					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	授業の説明・単語解説			単語テストに向け該当箇所を覚える	
	2	リスニング(Part 1 人物動作)			単語テストに向け該当箇所を覚える	
	3	リーディング(Part 5 時制)			単語テストに向け該当箇所を覚える	
	4	リスニング(Part 1 物の位置の表現)			単語テストに向け該当箇所を覚える	
	5	リーディング(Part 5 品詞)			単語テストに向け該当箇所を覚える	
	6	リスニング(Part 2 疑問文)			単語テストに向け該当箇所を覚える	
	7	リーディング(Part 5 代名詞)			単語テストに向け該当箇所を覚える	
	8	リスニング(Part 2 様々な答え方)			単語テストに向け該当箇所を覚える	
	9	リーディング(Part 5 接続詞)			単語テストに向け該当箇所を覚える	
	10	リスニング(Part 3 ビジネス会話)			復習テストに向け勉強	
	11	リーディング(Part 5 イディオム)			復習テストに向け勉強	
	12	復習テスト			単語テストに向け該当箇所を覚える	
	13	リスニング(Part 3 ビジネス会話)			単語テストに向け該当箇所を覚える	
	14	リーディング(Part 7 広告・入力フォーム)			単語テストに向け該当箇所を覚える	
	15	リスニング(Part 3 図表問題)			単語テストに向け該当箇所を覚える	
	16	リーディング(Part 7 チャット)			単語テストに向け該当箇所を覚える	
	17	リスニング(Part 4 アナウンス)			単語テストに向け該当箇所を覚える	
	18	リーディング(Part 7 ビジネスレター)			単語テストに向け該当箇所を覚える	
	19	リスニング(Part 4 図表問題)			単語テストに向け該当箇所を覚える	
	20	リーディング(Part 7 Double/Triple/パッセージ)			復習テストに向け勉強	
	21	復習テスト			間違った問題をやり直す	
	22	TOEIC模試① Part 1 / 2 / 7 (Single)			間違った問題をやり直す	
	23	TOEIC模試① Part 3 / 7 (Double)			間違った問題をやり直す	
	24	TOEIC模試① Part 4 / 5 / 6			間違った問題をやり直す	
	25	TOEIC模試② Part 1 / 2 / 7 (Single)			間違った問題をやり直す	
26	TOEIC模試② Part 3 / 7 (Double)			間違った問題をやり直す		

	27	TOEIC模試② Part 4/ 5 / 6	間違った問題をやり直す				
	28	TOEIC模試④ リーディング100問	間違った問題をやり直す				
	29	TOEIC模試④ リスニング100問	正試験に向けた復習				
	30	前期のまとめ	正試験に向けた復習				
評価方法	(1)授業の中で復習テストを2回実施する。(2)単語テストを9回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	単語テスト	◎					10%
	復習テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	社会教養ⅡA							
科目名(英)								
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	郡嶋 奨	
実施年度	2019年度		実施時期	前期		実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年							
授業概要	ホテル業界で働く社会人として必要な知識を身につける。就職活動に必要な面接や履歴書、エントリーシートの書き方などの対策を行う。							
授業形式	講義:	○		演習:		実習:		
						実技:	○	
						※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	△	○				履歴書、エントリーシートを作成できるようになる。		
		○				面接で自分のPRをし、印象に残る受け答えができるようになる。		
		○				グループディスカッションの内容を理解し、役割も含め効果的に遂行できるようになる。		
テキスト・教材 参考図書	就職ガイドブック ブライダルのお仕事 (ウエディングジョブ発行)							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導						
	2	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導						
	3	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導						
	4	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導						
	5	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導						
	6	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導						
	7	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導						
	8	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導						
	9	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導						
	10	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導						
	11	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導						
	12	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導						
	13	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導						
	14	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導						
	15	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導						
評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施する。(2)授業態度 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	履歴書提出		◎				80%	
	レポート・授業態度・出席状況		○		○		20%	
履修上の注意								

科目名	宿泊実務Ⅱ							
科目名(英)	Practical Skills in Rooms Department							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	郡 嶋 奨			
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	ホテルにてフロント業務 として勤務			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年							
授業概要	宿泊部門におけるフロントの実務を実技形式で学ぶ。該当部署の業務を理解するとともに、コンピュータ化されているホテルシステムの中のフロントシステムを理解する。また該当部署の業務に必要な専門用語を学ぶ。							
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
	○					フロントクラークの業務を学び、チェックインの手順を専門用語を交えて説明できる。		
		○				チェックイン時のゲストとの接客(会話)表現を覚え、実技で使うことができる。		
		○	○			チェックイン業務を把握し、一連の流れとしてチェックインに必要な作業ができる。		
		○	○			フロントシステムを使い、チェックイン業務を実行できる。		
テキスト・教材 参考図書	宿泊業務の基礎、プリント							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	授業内容説明、フロント業務説明、実技導入						
	2	チェックインの流れ 基礎編 説明、実践				プリントの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	実技練習(基礎)				実技内容の該当範囲を覚えてくること		
	4	チェックインの流れ 応用編 説明、実践						
	5	実技練習(応用)				プリントの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	実技練習(通し練習)①				実技内容の該当範囲を覚えてくること		
	7	実技練習(通し練習)②				実技内容の該当範囲を覚えてくること		
	8	実技テスト						
	9							
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
	16							
17								
評価方法	(1)授業の中で実技テストを1回実施する。(2)小テストを2回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	実技試験	○	○	◎			50%	
	実技小テスト		○	○	○		50%	
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。							

科目名	食品衛生						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	山本 幸子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年						
授業概要	夏季に実施される「レストランサービス技能検定試験(学科)」の合格を目指し、食品衛生、安全衛生など、衛生、食文化に関する基礎を学び、また、今後の就業や生活に必要な知識を身につける。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					検定合格できるレベルの食品衛生に関する知識を身につける。	
	○					食文化・国際習慣を学び、料飲のサービスに活かすことが出来る能力を身につける。	
	○					安全衛生の知識を学び、今後の生活や職場で活かすことが出来る。	
	○					独特の採点方法に慣れ、安定して合格できるレベルの知識を身につける(合格点60点)。	
テキスト・教材 参考図書	西洋料理 料飲接客サービス技能 日本ホテル・レストランサービス技能協会						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	食品衛生 ～食品管理の法律・食中毒の基礎知識～			教科書に目を通しておいってください		
	2	食品衛生 ～食中毒の分類と発生状況～			教科書に目を通しておいってください		
	3	食品衛生 ～感染型食中毒～			教科書に目を通しておいってください		
	4	食品衛生 ～毒素型食中毒～			教科書に目を通しておいってください		
	5	食品衛生 ～寄生虫・害虫について～			教科書に目を通しておいってください		
	6	食品衛生 ～腐敗・殺菌と消毒・公衆衛生と食品衛生法～			教科書に目を通しておいってください		
	7	中間テスト			合格点が取れるよう、復習をしておいてください		
	8	食事の国際習慣・食文化 ～プロトコールについて学ぼう～			教科書に目を通しておいってください		
	9	苦情対応・忘れ物・遺失物			教科書に目を通しておいってください		
	10	施設管理・食品衛生法			教科書に目を通しておいってください		
	11	安全衛生 ～労働災害について～			教科書に目を通しておいってください		
	12	安全衛生 ～5Sについて・労働安全衛生に関する法律～			教科書に目を通しておいってください		
	13	安全衛生 ～施設管理について・法律とその内容のまとめ～			教科書に目を通しておいってください		
	14	期末テスト対策			合格点が取れるよう、復習をしておいてください		
15	期末テスト			教科書に目を通しておいってください			
評価方法	①毎回、授業の最初におさらいテストを実施する ②定期試験を実施する ③ポイント整理ノートを作成、提出する 以上を下記の観点、割合で評価する 成績評価はS(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				80%
	おさらいテスト	◎	○				10%
	提出物	○			◎		10%
履修上の注意							

科目名	茶道						
科目名(英)	Tea Ceremony						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	真武 美知子
実施年度	2019年度		実施時期	前期		実務家教員 担当科目	○
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年						
授業概要	茶道を通して、和室での作法、茶道の基本動作(点前・お客・お運び)を習得することで、日本文化の良さを理解し‘おもてなし’の心を身につける。茶道の一連の流れの中で、目配り・気配り・心配り・が出来た人になり、仕事に役立つよう自分自身を磨く。薄茶点前が出来ることを目指す。						
授業形式	講義:	演習:	△	実習:	実技:	○	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○			△		茶道具を覚える。茶菓子の種類を学ぶ。	
	△		○	△		和室での所作習得する。襖の開閉、茶室への入り方、畳の歩き方、座り方を習得する。	
	△		○	△		盆点前。茶筥でお茶を点てる、お茶をいただく、お茶を運ぶ、を実習、習得する。	
	△		○	△		割り稽古追加(服紗さばき・茶入・茶杓の拭き方・茶筥通し・茶巾の扱い)習得する。	
△		○	△		炉による薄茶点前を習得する。		
テキスト・教材 参考図書	道具名称 ・ お菓子 (コピーを配布)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	自己紹介・シラバス説明・和室での基本動作実習。お稽古セット、茶道具・茶菓子・水屋の説明。				茶道具を覚える(プリントあり) 正座(畳に座ること)に慣れる。	
	2	点出し(点前・お運び・客)お茶の点て方・飲み方・お菓子				抹茶の量、点て方を覚える 服紗のたたみ方・しまい方	
	3	点出し、割り稽古(服紗さばき・茶入、茶杓の拭き方)				割り稽古復習(服紗さばき・茶入、茶杓の拭き方)	
	4	略点前(お盆点て) 割り稽古(茶巾の扱い・茶碗の拭き方)				割り稽古復習(服紗さばき・茶入、茶杓の拭き方) 追加(茶巾の扱い・茶碗の拭き方)	
	5	略点前(お盆点て) 割り稽古(茶筥通し)				割り稽古復習(服紗さばき・茶入、茶杓の拭き方・茶巾の扱い・茶碗の拭き方) 追加(茶筥通し)	
	6	略点前(お盆点て) 挨拶の仕方と割り稽古復習				割り稽古復習(服紗さばき・茶入、茶杓の拭き方・茶巾の扱い・茶碗の拭き方・茶筥通し)	
	7	略点前(お盆点て) 通し練習(点前・客・お運び・水屋)				割り稽古復習 点前の順序・流れを覚える。	
	8	略点前(お盆点て) 通し練習(点前・客・お運び・水屋)				割り稽古復習 点前の順序・流れを覚える。	
	9	炉(薄茶点前) 風炉と炉との違い説明(季節・道具)				柄杓・蓋置の扱いを覚える。	
	10	炉(薄茶点前) 建水を運び出した所から				建水・蓋置・柄杓の位置を覚える。	
	11	炉(薄茶点前) 客の作法・お運び・水屋準備を再確認				割り稽古の復習、スムーズに出来るようにする。	
	12	炉(薄茶点前) 点前の順序・流れを覚える				点前の順序・流れを覚える。	
	13	炉(薄茶点前) (総仕上げ) 各役割を確実にを行う				点前の順序・流れを覚える。	
	14	評価	炉(薄茶点前) 2名ずつ				
15	評価	炉(薄茶点前) 2名ずつ					
評価方法	(1)実技試験を実施する。(2)復習実技を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		実技試験		◎			70%
		復習実技・授業態度		○	◎		30%
履修上の注意	ソックスを履く。女性はスカート着用、髪を束ねる。服紗をつけるのにベルトがある物を着用又は紐を持参する。当番を決める(お菓子・準備・後片付け) 5分前に授業終了し掃除・後片付けをする。						